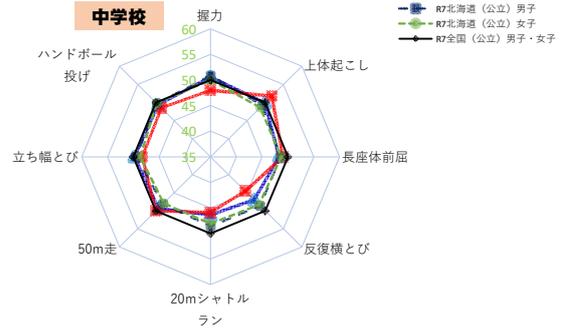
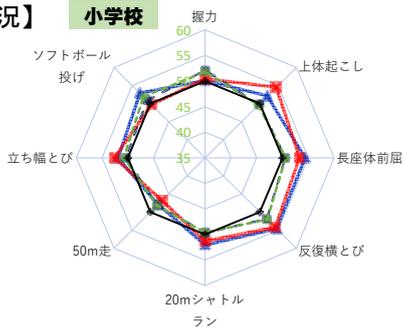
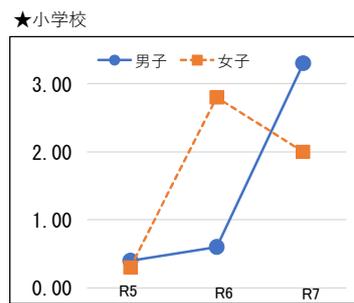
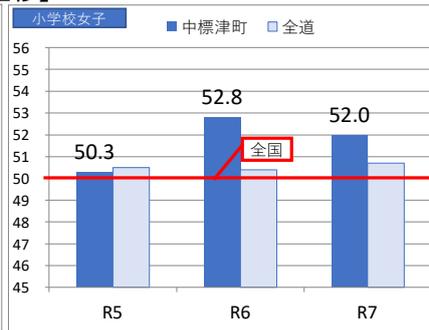
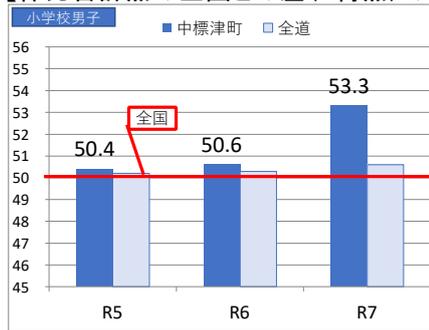


○ 実技に関する調査の状況

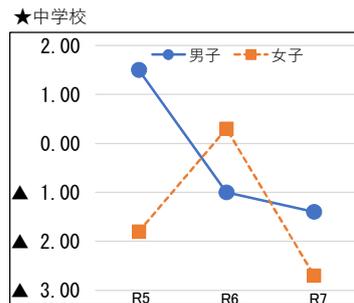
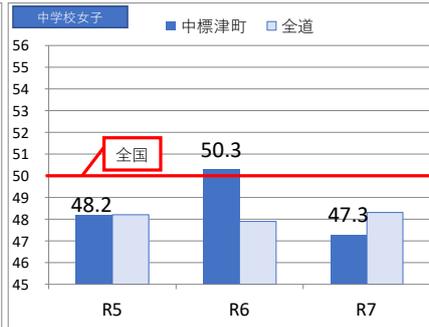
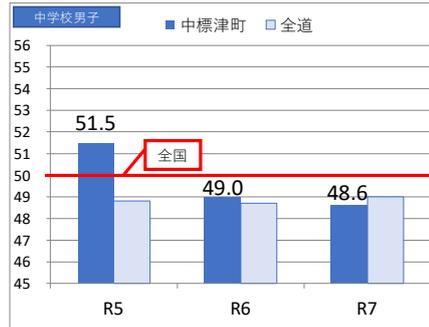
【各種目の状況】



【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】

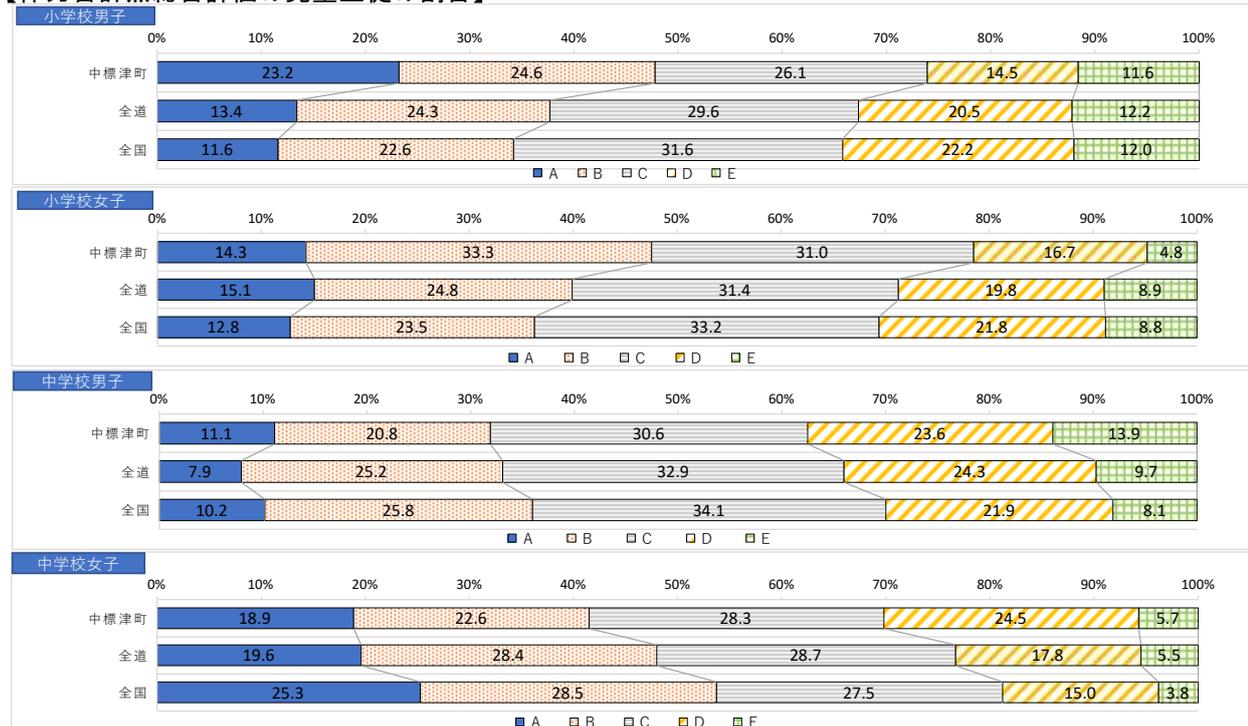


〈体力合計点の全国との差の推移〉



〈体力合計点の全国との差の推移〉

【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】

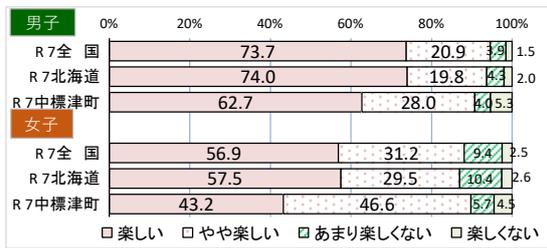


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

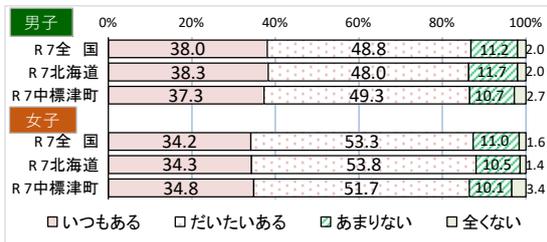
【児童質問調査】

・体育の授業は楽しいですか。

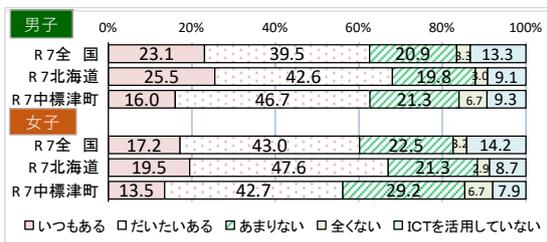


【児童質問調査】

・体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがありますか。



・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



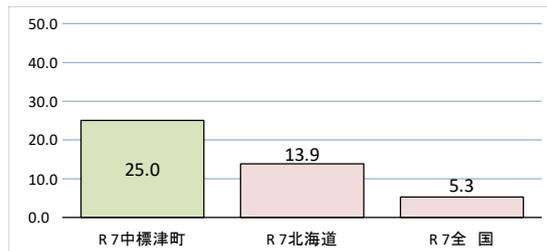
【学校質問調査】

小学校

・体育授業において児童同士で話し合う活動を行っている。



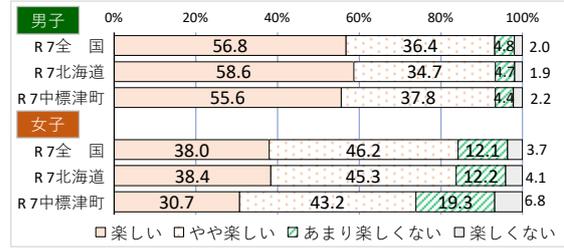
・体育授業において毎時間ICTを活用している。



中学校

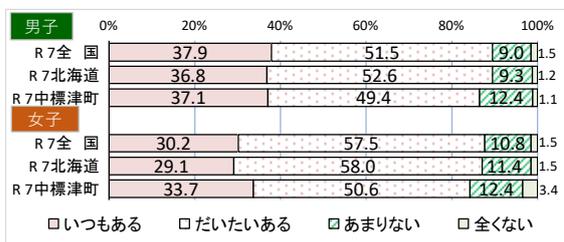
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか。

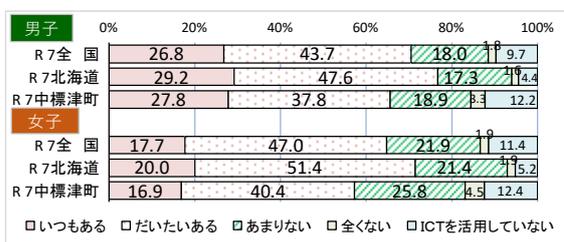


【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがありますか。

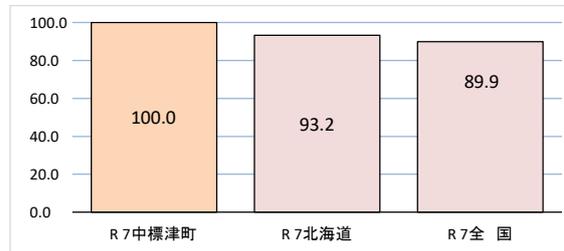


・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

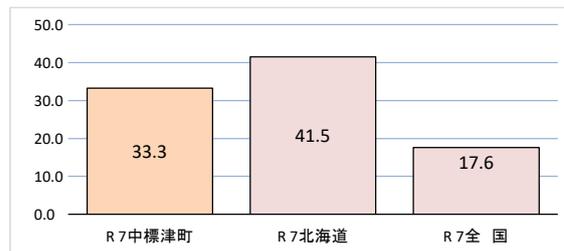


中学校

・保健体育授業において生徒同士で話し合う活動を行っている。



・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業において友達同士で助け合ったり、教え合ったりする場を設定して運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合が全国及び全道と同等程度となったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較してICTの活用頻度は高いものの、ICTの活用が技能や知識の定着に十分つながっていないため、体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において生徒同士で助け合ったり、教え合ったりする場を設定して運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、男子において意欲が高まり「体育が楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合が全国及び全道と同等程度となったと考えられる。

【課題】

・全国と比較してICTの活用頻度が高いものの、知識や技能の定着につながっておらず、保健体育授業に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られることから、女子において「保健体育の授業は楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

■ 中標津町の体力向上に向けた改善方策

・中標津町教育委員会では、次の2つの視点で体力向上に向けた改善を図る。

- 視点1 「光・暗闇・外遊び」の実践
- 視点2 子ども主体の体育の授業づくり

・視点1については、生活リズムの改善を図るための実践です。

明るいうちは外で元気よく遊び、日中外で遊ぶので夜はぐっすり眠り、大人も一緒になってメディアタイムを短くして生活する。その重要性を学校が理解し実践するとともに、保護者へも呼びかけて生活習慣の改善を図ることを目指します。

・視点2については、一緒に活動する集団の質を高める実践です。

「体育の授業が楽しくない」と回答した児童生徒に対し、「どのようなことがあれば授業は楽しくなると思うか」との問いに対し、「できなかったことができるようになったら」「自分に合った場やルールが用意されていたら」「自分に合ったペースで行うことができたなら」「できる・できないだけで比べられなかったら」と回答している児童生徒の割合が多かったです。また、「先生に褒められること」よりも「友達に認めてもらえること」を望んでいる児童生徒も多かったです。

このことから、体育の授業が楽しいと児童生徒が思う授業改善が必要です。何か新たな取り組みをすることよりも、児童生徒自身がお互いの長所短所を理解し、協力したり励まし合ったりできる集団になることが重要です。その集団作りには「子ども主体の体育の授業」が欠かせないと考えます。

中標津町では、この2つの視点を意識した実践を行い、体力向上を図っていきます。